

## 三重県におけるATLウイルス感染の実態の検討

櫻井 實<sup>1)</sup>, 伊藤正寛<sup>1)</sup>, 神谷 齊<sup>2)</sup>, 庵原俊昭<sup>2)</sup>

要約 三重県の紀伊半島南部(紀南地区)はATL Aの抗体保有率が3.4%と報告されている。まず紀南地区の5病院を対象として妊婦のATL抗体検査の実態調査を行なった。その結果妊婦の抗体保有率は0.6%から2.2%で全体では1.5%であった。第1次検査方法や確認検査の統一がとれていないのが現状である。今後はセンターで確認検査をする等の一定の方式を確立しATL母子感染予防対策を進める予定である。

見出し語: 三重県、ATL

研究方法: 三重県の紀伊半島東海岸、熊野灘沿岸(紀南地区)はATL A抗体保有率が高い地区として知られこれまでの報告<sup>1)</sup>では3.4%とされている。これまでの調査は住民を対象とした抗体保有率の調査が主で、母子感染に関してはほとんど実態調査がなされていないのが現状である。今年度は本研究班の保健指導班に参加するに際しまず三重県におけるATL母子感染の実態調査を開始した。三重県のATLの好発地区の病院から5病院を選び、妊婦のATL抗体検査の実施の有無、検査の開始時期、検査方法、確認試験の方法、抗体陽性率、指導方法等について調査した。さらに三重県における

ATL母子感染の予防対策の確立のために、三重県産婦人科医会、三重県小児科医会が中心となって三重県ATLウイルス母子感染防止連絡協議会を開催した。

結果: これまでの三重県における住民のATL抗体保有調査では三重県の北部や、伊勢志摩地方の抗体保有率は1%以下であるのに対し紀南地区では3.4%であった。年齢別では高齢になるほど抗体保有率が上昇する傾向は認められなかった。三重県の紀南地区の妊婦のATL検査状況を表に示す。各病院が独自に検査を開始しており5病院中3病院が昭和62年4月、2病院が63年4月から抗体検査を開始した。検査

1) 三重大学医学部小児科

2) 国立療養所三重病院小児科

方法は4病院がPA法、1病院がFA法であった。確認検査は2病院のみがWestern Blot法で行なっていた。この間に検査対象となった妊婦の数は1病院につき173名から1533名であった。抗体陽性と判定された妊婦の数は5病院合わせて46名で陽性率は1病院あたり0.6%から2.2%で全体の陽性率は約1.5%であった。全部の病院では母乳中止の指導は産科医がおこなっており出生後の児の経過観察は小児科医が行なっていた。以上の事から三重県では妊婦の抗体測定方法が統一されておらず陽性者の確認試験方法と最終判定の基準も設定されていないことが明らかになった。

昭和63年10月に三重県ATLウイルス母子感染防止連絡協議会準備会を開し産婦人科と小児科からなる委員会を設置し母子感染予防のための三重県方式の実施要項の骨子を作成することを決めた。次年度は一定の方式に基づいて母子感染予防対策を進める予定である。また、

#### 紀伊半島東岸の妊婦の抗体検査状況

	紀南	尾鷲	伊勢市民	日赤	志摩
検査開始	62年4月	63年3月	62年4月	62年4月	63年4月
検査法	PA(ソキ)	PA	FA(SRL)	PA	PA(7Zビオ)
精密検査	していない	していない	(±)のみ	WB(32以下)	WB
対象者数	316例	173例	約600例	1533例	約360例
陽性者数	2	3	10	23	8
陽性率	0.6%	1.7%	1.6%	1.5%	2.2%
指導方法	母乳中止	母乳中止	母乳中止	母乳中止	母乳中止
指導者	産婦人科	産婦人科	産婦人科	産婦人科	産婦人科
児の経過観察	小児科	対象無し	対象無し	小児科	対象無し

ATL院内感染についての取扱は現在B型肝炎に準じて行なっている。次年度ではATLに関する取扱い方を検討する予定である。

考察 三重県の中でも紀伊半島の東海岸、熊野灘に面する地方は海岸線のすぐ背部が山岳地方で陸路の発達が乏しかった。そのため海路による交通が発達し黒潮に乗って沖繩、九州、南四国との交流があったことを史実は伝えている<sup>2)</sup>。このような歴史的背景が関与してATLA抗体高保有地区となっていると思われる。今回の紀南地区における妊婦のATL抗体保有率は1.5%でこれまでの住民の抗体保有率よりは低かったが今後統一方式を早急に決定しよく検討する予定である。

#### 文献

- 1) 内田哲史他：紀伊半島東海岸住民のATLA抗体。臨床血液26：1608，1985。
- 2) 西川順士他：三重県の歴史と風土 創土社 1975 p98。



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約 三重県の紀伊半島南部〔紀南地区)は ATLA の抗体保有率が 3.4%と報告されている。まず紀南地区の 5 病院を対象として妊婦の ATL 抗体検査の実態調査を行なった。その結果妊婦の抗体保有率は 0.6%から 2.2%で全体では 1.5%であった。第 1 次検査方法や確認検査の統一がとれていないのが現状である。今後はセンターで確認検査をする等の一定の方式を確立し ATL 母子感染予防対策を進める予定である。